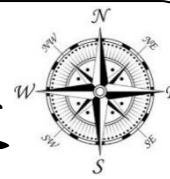


羅金十盤



太秦中学校
進路指導部
7月13日No.65
松田成司

懇談会資料の見かた

今年度、懇談会資料の形式が変わったので、説明します。

上から3段目の欄が、学習確認プログラムの欄になります。みんなが、2年生から取り組んできた結果が、載っています。

ついこの間返却された、「3年生1stステージ」の結果も載っています。その右にある、たくさんの数字について、説明したいと思います。

各学年の評定を4教科は2倍、5教科はそのまたした合計です。

各学年の評定をそのまま合計したものです。

学習確認プログラム

	国語	社会	数学	理
2年生 プレステージ1	77 76.9	60 55.2	58 60.8	51 58
2年生 プレステージ2	70 69	40 36	68 55.7	61 54
2年生 プレステージ3	70 67	40 37	73 59.3	41 51
3年生 確プロ1	75 76	20 16	53 52.0	51 52
3年生 確プロ2	70 66	10 9	50 48	49 48

と3年の確プロ一回の平均です。

合計			
312	1年生の成績	43	(29)
307.7	2年生の成績	45	(31)
318	3年生の成績	40	(28)
281.5	成績合計	128	/ 195
344			
		88	/ 135
		333	
274.1	200点満点に換算	123	/ 200

中期選抜に向けて報告書合計

前期選抜に向け て報告書合計

公立の中間選抜では、各学年の評定のうち、4教科だけを2倍にして合計した、195点満点を報告書の数字として利用しています。

1学年5教科がオール5だと、 $5 \times 5 = 25$ 4教科がオール5だと $5 \times 2 \times 4 = 40$
合計 $25 + 40 = 65$
3学年だと $65 \times 3 = 195$ 満点となります。

それに、当日の5教科のテスト（検査）が1教科40点満点なので、 $40 \times 5 = 200$ 満点となります。ということで、中期選抜の場合、395点満点での判定となります。上の場合、261点となり6割ぐらい取れています。

自分が、中期選抜に向けてどれぐらい取れているかの目安になるかと思います。1、2年生の評定は変わらないので、3年生の評定と当日点でどれぐらい取れるようになるかが、今からのみなさんの頑張りになると思います。

前期選抜の場合は、各学年の評定をそのまま合計した、135点満点を報告書の数字として利用しています。そこに、面接、作文、活動実績報告書、または当日の3~4教科のテストの点数などが加わって判定されます。

今回の懇談では、今の自分の実力を確認して、自分が希望する進路に向けてどうしていけばよいかということの確認の場になると思いますので、懇談会資料はその手助けになればいいかと思っています。しっかりと活用してみてください。